

# 久慈工魂

生徒の輝く姿が見える楽しい学校

工業高校で学習している「ものづくり」の発表の場でもある、高校生ものづくりコンテストには、上位大会の「技能五輪」があります。生徒たちには、卒業後も青年技能者として活躍してもらいたいと思います。

## 高校生ものコン東北大会

高校生ものづくりコンテスト2021東北大会木材加工部門が、8月4日・5日の2日間、奥州市の胆江地域職業訓練センターで開催されました。参加者は、東北6県代表の7名(開催県2名)です。昨年度の県大会で優勝した、本校建設環境科3年の大矢陸斗君も岩手県代表として出場しました。

高校生ものづくりコンテストは、木材加工のほか、旋盤作業や電気工事、測量などの7部門で実施されています。東北大会第1位の選手は、全国9ブロックの高校生が一同に会して、「ものづくり」の技術・技能を競い合う、全国大会への出場権を獲得します。

東北大会を終えて、大矢陸斗君は、「普段の練習の成果を出し切ることの難しさを感じました。これからも、木材加工の技術向上に、励みたいと思います。」と、全校生徒を前に報告していました。



## 中学生体験入学

7月の中学生体験入学は、中止となりましたが、前々号の校報に掲載できなかった体験実習の内容について、学科ごとに紹介します。



電子機械科では、マシニングセンタ(MC)と呼ばれる自動工作機械を使用して「オリジナルネームプレート」を製作します。デザインは3D-CADで行います。自分の考えたデザインが、MCで削り出される工程を間近で見ることができます。プレートの材質は、軽くて光沢も持続する金属、アルミニウムです。



建設環境科では、「重機体験・鉄筋の強さを知ろう・測量体験」をテーマに、様々な実習を行います。建設機械のバックホウに乗車して操縦をしたり、普段は、見ることができないコンクリート構造物の中の鉄筋を引張破断し、その強度を計測したりします。また、土木工事に使用される測量機器の基本操作にも取り組みます。